60GHz cnWave無線機 V1000/V2000/V3000/V5000 Factory Resetマニュアル



Reset後、局設定はDefault値に戻ります。 無線機のIP addressもDefaultの169.254.1.1 へ戻ります。

運用中の回線は回線断となり、Link確立の再設定が必要となりますのでご注意下さい。

RFD-220T0009-02 第2.0版

2025/1/9

改版履歴



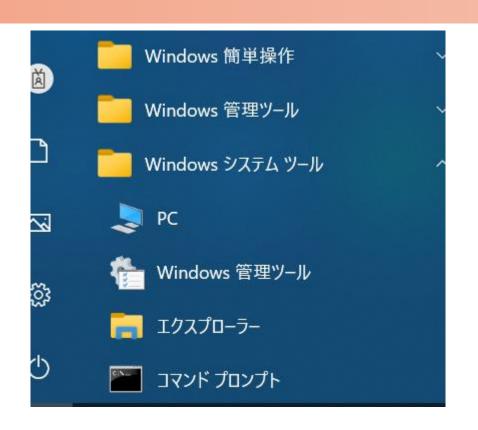
1.0版 初版 2022/7/1

2.0版 2025/1/9

V2000を追記、Factory Reset実行後Link確立再設定が必要な事を追記

はじめに: Pingを連続打ちモードにしておくことをお薦めします。





```
C:\text{\text{$\text{$\text{$WINDOWS\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$\text{$$}}}$} 169.254.1.1 -t}}} 169.254.1.1 に ping を送信しています 32 バイトのデータ: 169.254.1.1 からの応答: バイト数 =32 時間 <1ms TTL=64 169.254.1.1 からの応答: バイト数 =32 時間 <1ms TTL=64
```

- 1.PC**のコマンドプロンプトを起動します。**Windows10ならWindowsシステムツールの配下にあります。
- 2. ping[]169.254.1.1[]—t と入力しEnter Keyを押すと、ping連続打ちモードが開始します。 []はブランクを意味します。
- 3. 疎通が成功すれば上右図の応答メッセージが現れます。

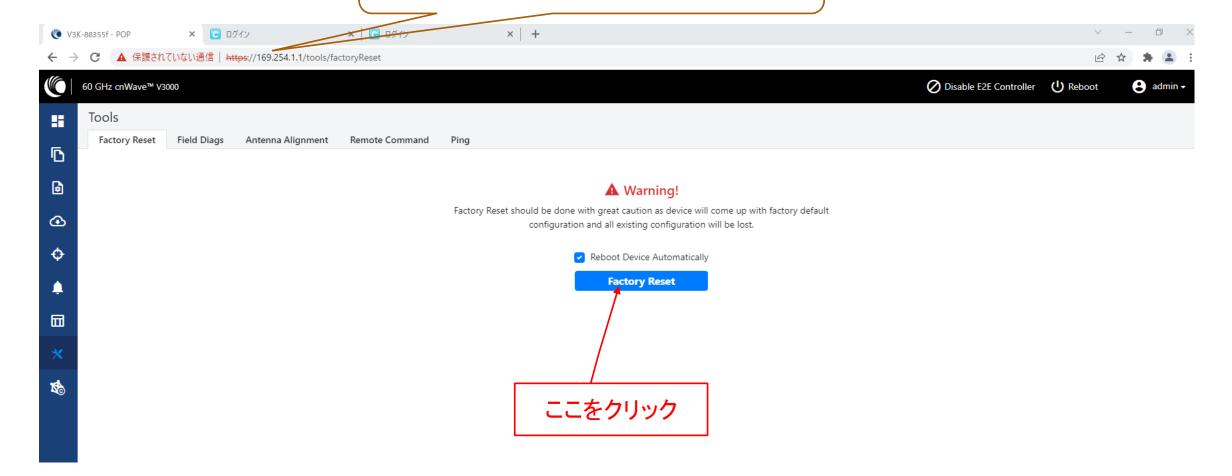
Master局のV3000をFactory Reset する時の画面です。V1000/2000/5000もこれに準じます。





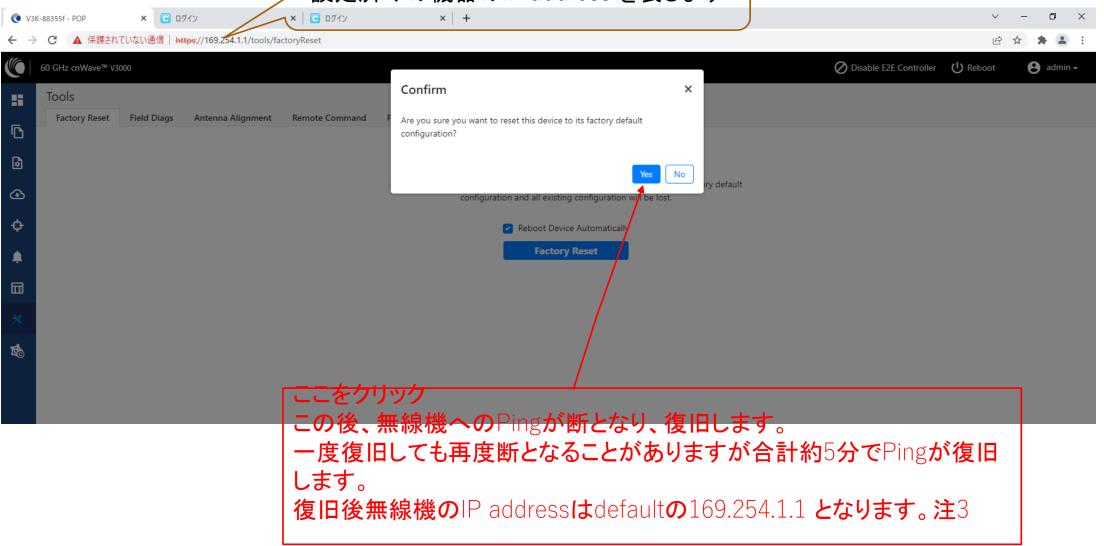




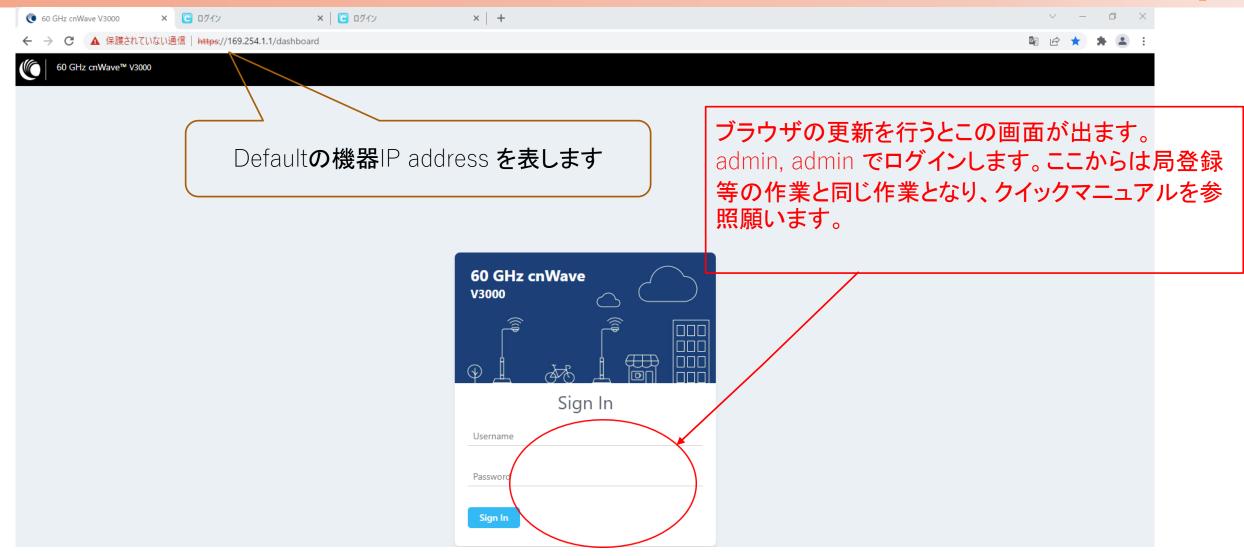




設定済みの機器のIP address を表します









ご注意

- 1 PoE の電源OFF後、5秒以内に電源ONするとRecovery Modeとなり暫く装置が立ち上がらなくなります。 続けてご使用の場合は10秒以上待ってから電源ONをお願いします。
- 2. Slave局のIP Address 変更はMaster局からRemoteで設定して下さい。Slave局にPCで直にアクセスして異なるIP Addressを設定しても、Master局で設定したSlave局情報を優先してRemoteで変更しようとします。Master, Slaveで異なるパラメータをマニュアルで設定するとLink確立に時間がかかる、あるいは確立しない場合があります。
- 3. Slave局のResetをMaster局と無線接続したままFactory Resetを行うと、Slave局が Default値に復旧後、Master局は直ちにSlave局に対し自局で設定したSlave局のIP addressにRemoteで変更しようとします。 その結果、Linkの接続に時間がかかる、あるいは確立しない場合があります。